

実習施設の数は、4～5施設で実習をする学校が60.2%と一番多い。臨床実習指導員は、学校と施設の両方に兼任している学校が43.2%ある。また、臨床実習で問題となる点は、実習施設の確保（55.3%）や実習日程の調整（67.0%）、臨床実習担当教員の確保（69.7%）をあげている学校が5割以上ある。

「3年課程」では、総合病院（92.0%）や保育園・幼稚園（92.7%）、保健所（91.7%）で臨床実習をする学校は9割以上を越え、4～5施設で実習する学校が58.7%と一番多い。臨床実習指導員は、学校と実習施設の両方に専任・兼任をとわずいる学校が59.3%ある。また、69.0%の学校が臨床実習指導員の確保に問題があるとしている。

「短大」では、総合病院（97.7%）や保健所（90.9%）で臨床実習をする学校が9割を越え、4施設以上で実習する学校が、81.8%ある。臨床実習指導員は、学校と実習施設の両方に専任・兼任をとわずいる学校が65.9%ある。また、54.5%の学校が臨床実習指導員の確保に問題があるとしているが、問題がない学校が18.2%あり、各課程の中で一番高い割合である。

「大学」では、すべての学校で総合病院や保育園・幼稚園、保健所で実習しており、6施設以上で実習をしている学校が80.0%と、各課程の中で一番高い割合である。臨床実習指導員は、兼任・専任をとわずに学校にいる学校が80.0%と、各課程の中で一番高い割合である。また、実習日程の調整（80.0%）や臨床実習担当教員の確保（70.0%）を問題点としてあげている学校が7割以上ある。

Ⅶ 学校の職員

1. 管理職

学校の管理職を「学校長・学長」「副校長・副学長」「学部長」「教務主任・学科主任」という職種とし、その専任・兼任別をたずねたのが、表43である。

「高校衛看」と「大学」を除いた各課程では、兼任の学校長・学長の方が5割以上で専任よりも多かったが、「高校衛看」と「大学」では、逆に専任の学校長・学長の方が6割以上で兼任よりも多かった。

「准看学校」と「進学コース」、「3年課程」では、副校長・副学長がいる学校が5割以上であった。それ以外の各課程では、副校長・副学長がいない学校がほぼ5割以上で、特に「短大」や「大学」では8割以上の学校で、副校長、副学長がいなかった。

「短大」や「大学」を除く各課程では、学部長がいない学校の方が8割以上あった。

各課程では、教務主任・学科長がいる学校が8割以上あり、しかも専任が5割以上あり、兼任よりも多かった。

管理職がいる学校に対して、管理職の職種についてもたずねたのが、表44である。

「高校衛看」と「大学」を除く各課程では、学校長・校長や副校長・副学長の職種は『医師』が5割

看護教育調査

表43 専任・兼任別の管理職の有無

管理職の有無		高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
学校長 学長	専任	39(60.9)	7(2.5)	52(19.7)	39(13.0)	19(43.2)	10(100.0)	166(17.3)
	兼任	22(34.4)	271(97.1)	212(80.3)	260(86.7)	25(56.8)	0(—)	790(82.2)
	いない	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)
	回答	3(4.7)	1(0.4)	0(—)	1(0.3)	0(—)	0(—)	5(0.5)
副校長 副学長	専任	18(28.1)	14(5.0)	44(16.7)	60(20.0)	2(4.5)	0(—)	138(14.4)
	兼任	11(17.2)	164(58.8)	108(40.9)	109(36.3)	4(9.1)	0(—)	396(41.2)
	いない	31(48.4)	100(35.8)	115(44.0)	132(44.0)	38(86.4)	9(90.0)	425(44.2)
	回答	4(6.3)	1(0.4)	0(—)	3(1.0)	0(—)	1(10.0)	9(0.9)
学部長	専任	1(1.6)	4(1.4)	14(5.3)	15(5.0)	10(22.7)	6(60.0)	50(5.2)
	兼任	3(4.7)	19(6.8)	14(5.3)	6(2.0)	13(29.5)	3(30.0)	58(6.0)
	いない	56(87.5)	254(91.0)	236(89.4)	278(92.7)	21(47.7)	0(—)	845(87.9)
	回答	4(6.3)	2(0.7)	0(—)	1(0.3)	0(—)	1(10.0)	8(0.8)
教務主任 学科長	専任	46(71.9)	258(92.5)	246(93.2)	285(95.0)	25(56.8)	3(30.0)	863(89.8)
	兼任	13(20.3)	21(7.5)	14(5.3)	12(4.0)	14(31.8)	2(20.0)	76(7.9)
	いない	1(1.6)	1(0.4)	4(1.5)	1(0.3)	5(11.4)	3(30.0)	15(1.6)
	回答	4(6.3)	1(0.4)	0(—)	2(0.7)	0(—)	2(20.0)	9(0.9)
学校総数		64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

註) 管理職が複数人いた場合には、それぞれを回答数にいった。そのため、「専任」「兼任」「いない」「無回答」の合計が学校総数と一致しないことがある。

以上と一番多かった。

学部長は、「進学コース」と「3年課程」では、『看護職』が6割以上と一番多く、「高校衛看」では、『その他』が75.0%と一番多かった。それ以外の各課程では、『医師』が4割以上で一番多かった。

教務主任・学科長では、「大学」を除いた各課程で『看護職』が4割以上で一番多かった。

2. 教 員

(1) 専任教員

1) 専任教員数

専任教員の人数についてまとめたのが、表45である。

「准看学校」を除く各課程では、平均で7人以上の専任教員がいた。また、専任教員の規模をみると、「高校衛看」と「准看学校」では、専任教員が『3～4人』の学校が40%台と多く、特に「准看学校」では『1～2人』の学校が28.3%もあった。「進学コース」では、『5～6人』の学校が37.1%と一番多かった。「3年課程」では、『3～4人』『5～6人』『7～9人』の学校がそれぞれ28.3、27.3%、29.7%とほぼ同じ割合であった。「短大」では、『10～19人』の学校が56.8%と一番多く、「大学」では『20人以上』の学校が60.0%と一番多かった。

専任教員一人当たりの学生数は、「高校衛看」では40.0人、「准看学校」では22.5人、「大学」では7.5人、それ以外の各課程では10人台であった。

表44 管理職の職種

		高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
学校長 学 長	看護職	1(1.6)	1(0.4)	13(4.9)	11(3.7)	3(6.8)	0(—)	29(3.0)
	医師	0(—)	267(96.0)	207(78.4)	271(90.6)	24(54.5)	4(40.0)	773(80.9)
	事務職	1(1.6)	1(0.4)	8(3.0)	11(3.7)	0(—)	0(—)	21(2.2)
	その他	55(90.2)	3(1.1)	23(8.7)	2(0.7)	14(31.8)	5(50.0)	102(10.7)
	無回答	4(6.6)	6(2.2)	13(4.9)	4(1.3)	3(6.8)	1(10.0)	31(3.2)
	学校数	61(100.0)	278(100.0)	264(100.0)	299(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	956(100.0)
副校長 副学長	看護職	0(—)	8(4.5)	22(14.8)	47(28.1)	1(16.7)	0(—)	78(14.7)
	医師	0(—)	157(88.2)	79(53.0)	94(56.3)	5(83.3)	0(—)	335(63.3)
	事務職	0(—)	1(0.6)	12(8.1)	15(9.0)	0(—)	0(—)	28(5.3)
	その他	29(100.0)	8(4.5)	28(18.8)	10(6.0)	0(—)	0(—)	75(14.2)
	無回答	0(—)	4(5.4)	8(5.4)	1(0.6)	0(—)	0(—)	13(2.5)
	学校数	29(100.0)	178(100.0)	149(100.0)	167(100.0)	6(100.0)	0(—)	529(100.0)
学部長	看護職	0(—)	7(30.4)	18(64.3)	18(85.7)	1(4.3)	3(33.3)	47(43.5)
	医師	0(—)	13(56.5)	4(14.3)	0(—)	17(73.9)	4(44.4)	38(35.2)
	事務職	0(—)	1(4.3)	1(3.6)	2(9.5)	0(—)	0(—)	4(3.7)
	その他	3(75.0)	1(4.3)	4(14.3)	0(—)	5(21.7)	2(22.2)	15(13.9)
	無回答	1(25.0)	1(4.3)	1(3.6)	1(4.8)	0(—)	0(—)	4(3.7)
	学校数	4(100.0)	23(100.0)	28(100.0)	21(100.0)	23(100.0)	9(100.0)	108(100.0)
教務主任 学科長	看護職	26(44.1)	253(91.3)	238(91.5)	287(96.6)	21(53.8)	2(40.0)	827(88.3)
	医師	0(—)	2(0.7)	2(0.8)	0(—)	12(30.8)	3(60.0)	19(2.0)
	事務職	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)
	その他	26(44.1)	2(0.7)	3(1.2)	0(—)	5(12.8)	0(—)	36(3.8)
	無回答	7(11.9)	20(7.2)	17(6.5)	10(3.4)	1(2.6)	0(—)	55(5.9)
	学校数	59(100.0)	277(100.0)	260(100.0)	297(100.0)	39(100.0)	5(100.0)	937(100.0)

註) 管理職がいる学校のみ

表45 専任教員の数と専任教員一人当たりの学生数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
〔専任教員の規模〕							
1 ～ 2 人	2(3.1)	79(28.3)	5(1.9)	0(—)	0(—)	0(—)	86(8.9)
3 ～ 4 人	26(40.6)	128(45.9)	68(25.8)	85(28.3)	0(—)	0(—)	307(31.9)
5 ～ 6 人	17(26.6)	40(14.3)	98(37.1)	82(27.3)	0(—)	0(—)	237(24.7)
7 ～ 9 人	11(17.2)	22(7.9)	56(21.2)	89(29.7)	0(—)	1(10.0)	179(18.6)
10 ～ 19 人	2(3.1)	8(2.9)	31(11.7)	40(13.3)	25(56.8)	3(30.0)	109(11.3)
20 人以上	6(9.4)	1(0.4)	5(1.9)	3(1.0)	19(43.2)	6(60.0)	40(4.2)
無回答	0(—)	1(0.4)	1(0.4)	1(0.3)	0(—)	0(—)	3(0.3)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)
〔専任教員数〕							
専任教員の総人数	512	1,086	1,830	2,105	920	309	6,762
平均人数*	8.0	3.9	7.0	7.0	20.9	30.9	7.1
専任教師一人当たりの学生数	40.0	22.5	18.3	19.7	11.4	7.5	20.4

註) *「平均人数」とは、1校当たりの専任教員の平均人数

看護教育調査

2) 専任教員の取得免許

専任教員が取得している免許についてまとめたのが、表46である。

看護職免許を取得している教員の割合は、「高校衛看」と「短大」や「大学」を除く各課程では、9割以上であった。「高校衛看」と「大学」ではそれぞれ59.4%、63.1%、「短大」では72.4%の教員が看護職の免許を取得していた。

医師免許の取得者は、「短大」や「大学」を除いた各課程では、5%以下と低い割合であった。「短大」や「大学」では、それぞれ11.2%、15.2%と1割以上の教員が、医師免許を取得していた。

教員免許の取得者は、「高校衛看」を除く各課程では3割以下であり、「高校衛看」では79.7%と高い割合であった。

専任教員の看護職免許の取得率をまとめたのが、表47である。

「短大」や「大学」を除く課程では、7割以上の学校で看護職免許の取得率が100%であった。「短大」や「大学」では、看護職免許の取得率が80%以下の学校が一番多かった。

表46 専任教員の各種免許の保持者数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
[看護職免許]							
保持者総人数	304	1,043	1,693	2,048	666	195	5,949
平均*	(59.4) 4.9	(96.0) 3.8	(92.5) 6.4	(97.3) 6.9	(72.4) 15.1	(63.1) 19.5	(88.0) 6.2
[医師免許]							
保持者総人数	0	49	31	6	103	47	236
平均*	(—) 0	(4.5) 0.2	(1.7) 0.1	(0.3) 0.0	(11.2) 2.3	(15.2) 4.7	(3.5) 0.2
[教員免許]							
保持者総人数	408	161	487	469	138	36	1,699
平均*	(79.7) 6.5	(14.8) 0.6	(26.6) 1.9	(22.3) 1.6	(15.0) 3.1	(11.7) 3.6	(25.1) 1.8
専任教員の総人数	512	1,086	1,830	2,105	920	309	6,762
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
無回答(学校数)	0	1	1	1	0	0	3
学校総数	64	279	264	300	44	10	961

註) *「平均」とは、1校当たりの専任教員の免許保持者の平均人数

表47 専任教員における看護免許の取得率*

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
50%未満	5(7.8)	2(0.7)	4(1.5)	2(0.7)	1(2.3)	2(20.0)	16(1.7)
80%未満	4(6.3)	11(3.9)	8(3.0)	2(0.7)	26(59.1)	5(50.0)	56(5.8)
90%未満	5(7.8)	0(—)	11(4.2)	2(0.7)	17(38.6)	2(20.0)	37(3.9)
100%未満	0(—)	1(0.4)	5(1.9)	4(1.3)	0(—)	0(—)	10(1.0)
100%	48(75.0)	263(94.3)	235(89.0)	288(96.0)	0(—)	1(10.0)	835(86.9)
無回答	2(3.1)	2(0.7)	1(0.4)	2(0.7)	0(—)	0(—)	7(0.7)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

註) *取得率 = 看護職免許保持の専任教員数 ÷ 専任教員数 × 100

(2) 科目担当の教員

1) 科目ごとの専任・非常勤別教員数

各科目ごとの教員の数を専任・非常勤別にまとめたのが、表48である。

基礎科目や普通科目においては、「高校衛看」と「大学」を除いた各課程では、非常勤の教員の方が多かった。同様に、専門基礎科目においては、「高校衛看」を除く各課程では、非常勤の教員の方が多かった。専門科目になると、各課程とも専任教員の方が多かった。

2) 科目ごとの教員の職種

各科目ごとの職種別の教員数をまとめたのが、表49である。

基礎科目・普通科目においては、各課程ともその他の職種の教員が大半を占めていた。専門基礎科目においては、「高校衛看」を除く各課程で、医師の教員の方が看護職の教員よりも多かった。逆に、専

表48 各科目における専任・非常勤別の教員の数

		高校衛看		准看学校		進学コース		3年課程		短大		大学		全体	
		総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*
基礎科目 普通科目	専任	1,173	23.4	81	0.3	136	0.6	48	0.2	241	5.7	240	34.3	1,919	2.2
	非常勤	174	3.5	1,708	6.5	2,256	9.2	2,605	9.7	617	14.7	125	17.9	7,485	8.6
	無回答	14(21.9)		18(6.5)		20(7.6)		32(10.7)		2(4.5)		3(30.0)		89(9.3)	
専門基礎科目	専任	193	3.3	100	0.4	193	0.8	253	0.9	211	5.3	99	12.4	1,049	1.2
	非常勤	209	3.6	3,507	13.6	4,805	20.0	6,548	24.7	640	16.8	176	19.6	15,885	18.3
	無回答	6(9.4)		22(7.9)		24(9.1)		35(11.7)		6(13.6)		2(20.0)		94(9.8)	
専門科目	専任	263	4.5	996	3.9	1,624	6.8	2,005	7.4	667	16.3	195	21.7	5,768	6.6
	非常勤	611	10.7	6,169	24.2	5,950	25.0	8,217	31.2	1,203	30.1	243	27.0	22,393	26.0
	無回答	7(10.9)		24(8.6)		26(9.8)		37(12.3)		4(9.1)		1(10.0)		99(10.3)	
学校総数		64(100.0)		279(100.0)		264(100.0)		300(100.0)		44(100.0)		10(100.0)		961(100.0)	

註) 無回答の()内の数は、学校総数に対する%
*「平均」は、1校当たりの教員の平均人数

表49 各科目における職種別の教員数(専任, 非常勤を含む)

		高校衛看		准看学校		進学コース		3年課程		短大		大学		全体	
		総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*	総人数	平均*
基礎科目 普通科目	看護職	28	0.5	108	0.4	122	0.5	57	0.2	71	1.7	—	—	386	0.4
	医師	11	0.2	124	0.5	93	0.4	82	0.3	74	1.8	—	—	384	0.4
	その他	1,296	26.4	1,574	6.1	2,213	9.2	2,506	9.4	690	16.8	334	55.7	8,613	10.0
専門基礎科目	看護職	186	3.4	235	0.9	237	1.0	395	1.5	88	2.4	79	9.9	1,220	1.4
	医師	147	2.7	2,366	9.4	3,112	13.1	4,442	16.8	396	10.7	90	10.0	10,553	12.4
	その他	57	1.1	983	3.9	1,572	6.6	1,942	7.3	299	8.1	106	11.8	4,959	5.8
専門科目	看護職	272	4.9	2,898	11.4	4,340	18.4	6,030	22.6	913	22.8	208	23.1	14,661	17.0
	医師	534	9.7	3,615	14.4	2,713	11.5	3,543	13.5	610	15.2	136	15.1	11,151	13.1
	その他	46	0.8	424	1.7	500	2.1	562	2.1	369	9.2	128	14.2	2,029	2.4

註) *「平均」は、1校当たりの教員の平均人数

看護教育調査

門科目になると、「高校衛看」と「准看学校」を除いた各課程では、看護職の教員の方が多かった。

(3) 講師の確保

講師の確保の難易度についての結果が、表50である。

「准看学校」や「進学コース」、「3年課程」では、講師の確保が難しい学校の方が5割以上と多かった。逆に、「高校衛看」と「短大」においては、講師の確保が難しい学校の方が5割以上と多かった。「大学」では、講師の確保が難しい学校と難しい学校の割合が各々40.0%と同じであった。

講師の確保が難しい科目をまとめたのが、表51である。

「准看学校」では、基礎科目の講師の確保が難しいと回答している学校が50.7%と多く、「進学コース」と「3年課程」では、専門基礎科目の講師の確保が難しい学校がそれぞれ48.2%、58.1%、それ以外の各課程では、専門科目の講師の確保が難しいと回答している学校が4割以上と多かった。

表50 講師確保の難易度

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
難しい	28(43.8)	146(52.3)	170(64.4)	167(55.7)	16(36.4)	4(40.0)	531(55.3)
難しくない	36(56.3)	126(45.2)	90(34.1)	120(40.0)	26(59.1)	4(40.0)	402(41.8)
無回答	0(—)	7(2.5)	4(1.5)	13(4.3)	2(4.5)	2(20.0)	28(2.9)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

表51 講師の確保が難しい科目（複数回答）

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
基礎科目	1(3.6)	74(50.7)	68(40.0)	77(46.1)	3(18.8)	0(—)	223(42.0)
専門基礎科目	7(25.0)	48(32.9)	82(48.2)	97(58.1)	4(25.0)	0(—)	238(44.8)
専門科目	12(42.9)	51(34.9)	61(35.9)	62(37.1)	8(50.0)	2(50.0)	196(36.9)
その他	11(39.3)	20(13.7)	38(22.4)	42(25.1)	6(37.5)	3(75.0)	120(22.6)
無回答	5(17.9)	14(9.6)	10(5.9)	6(3.6)	1(6.3)	1(25.0)	37(7.0)
講師確保が困難な学校数	28(100.0)	146(100.0)	170(100.0)	167(100.0)	16(100.0)	4(100.0)	531(100.0)

註) 自由記述より分類

3. 事務職員

専任・非常勤（パートも含む）別の事務職員数をまとめたのが、表52である。

専任の事務職員は、「准看学校」を除く各課程では、平均でも2人以上いる学校が多かった。しかしながら、専任の事務員が全くいない学校が、「短大」を除く各課程で1割以上あった。

4. まとめ

以上より、各課程における学校の職員の特徴をまとめると、以下の通りである。

「高校衛看」では、学校長は専任（60.9%）でその他の職種（90.2%）、教務主任は専任（71.9%）で

表52 専任・非常勤別の事務職員数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大	学	全	体
〔専任〕									
0人	17(26.6)	51(18.3)	35(13.3)	46(15.3)	3(6.8)	1(10.0)	153(15.9)		
1人	2(3.1)	160(57.3)	91(34.5)	99(33.0)	1(2.3)	1(10.0)	354(36.8)		
2人以上	40(62.5)	60(21.5)	131(49.6)	152(50.7)	39(88.6)	8(80.0)	430(44.7)		
無回答	5(7.8)	8(2.9)	7(2.7)	3(1.0)	1(2.3)	0(—)	24(2.5)		
事務員総人数	214	317	675	588	450	149	2,393		
1校当たりの平均人数	3.6	1.2	2.6	2.0	10.5	14.9	2.6		
〔非常勤〕									
0人	44(68.8)	201(72.0)	163(61.7)	169(56.3)	17(38.6)	3(30.0)	597(62.1)		
1人	5(7.8)	53(19.0)	58(22.0)	94(31.3)	9(20.5)	3(30.0)	222(23.1)		
2人以上	10(15.6)	16(5.7)	37(14.0)	34(11.3)	17(38.6)	4(40.0)	118(12.3)		
無回答	5(7.8)	9(3.2)	6(2.3)	3(1.0)	1(2.3)	0(—)	24(2.5)		
事務員総人数	49	114	193	223	53	19	651		
1校当たりの平均人数	0.8	0.4	0.7	0.8	1.2	1.9	0.7		
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)		

看護職またはその他の職種（各々44.1%）の学校が多い。専任教員は、平均で8.0名おり、教員一人当たり40.0名の学生を担当しており各課程の中で一番多くの学生を担当している。専任教員の看護職免許の取得率は、59.4%と各課程の中で一番低い割合となっているが、逆に、教員免許取得率は79.7%で、各課程の中で一番高い割合である。また、専任の事務職員が2人以上いる学校が、3校に2校ある。

「准看学校」では、学校長は兼任（97.1%）で医師（9.6%）、教務主任は専任（92.5%）で看護職（91.3%）である学校が多い。専任教員は、平均で3.9名おり、教員一人当たり22.5名の学生を担当している。専任教員の96.0%と、ほとんどの教員が看護職免許をもっている。また、専任の事務職員が1名いる学校が57.3%ある。

「進学コース」では、学校長は兼任（80.3%）で医師（78.4%）、教務主任は専任（93.2%）で看護職（91.5%）である学校が多い。専任教員は、平均で7.0名おり、教員一人当たり18.3名の学生を担当している。専任教員の92.5%と、ほとんどの教員が看護職免許をもっている。講師の確保が3校に2校が難しく、特にどの科目という限定はない。また、専任の事務職員が2名以上いる学校が、49.6%ある。

「3年課程」では、学校長は兼任（86.7%）で医師（90.6%）、教務主任は専任（95.0%）で看護職（96.6%）である学校が多い。専任教員は、平均で7.0名おり、教員一人当たり平均で19.7名の学生を担当している。専任教員の97.3%と、ほとんどの教員が看護職免許をもっている。また、専任の事務職員が2名以上いる学校が、50.7%ある。

「短大」では、学長は兼任（56.8%）で医師（54.5%）、学科長は専任（56.8%）で看護職（53.8%）である学校が多い。専任教員は、平均で20.9名おり、教員一人当たり11.4名の学生を担当している。専

看護教育調査

任教員の看護職免許の取得率は、72.4%である。また、専任の事務職員が2名以上いる学校が、88.6%ある。

「大学」では、学長は専任（100.0%）でその他の職種（50.0%）、その他の管理職は専任が多く、医師である学校が多い。専任教員は、平均で30.9名おり、教員一人当たり7.5名の学生を担当している。専任教員の63.1%が看護職免許をもち、医師免許取得率は15.2%と、各課程の中でも一番高い割合である。また、専任の事務職員が2名以上いる学校が、80.0%ある。

VIII 学校業務

1. 業務の原案の決定者

学校業務の原案の決定者をまとめたのが、表53である。

「教員の業務分担」や「年間計画」の原案は、「高校衛看」と「大学」を除く各課程では、『学部長や教務主任』が決めている学校が、4割以上あった。「高校衛看」では、『校長』や『教務主任』がこの原案を決めている学校が、合わせて5割以上あった。「大学」では、『委員会』でこの原案を決めている学校が4割以上あった。

「予算の配分」の原案は、「短大」や「大学」を除く各課程では、『事務責任者』が決めている学校が、約3～4割あった。「短大」では、『事務責任者』や『学部長』が原案を決めている学校が各々27.3%と同じであった。「大学」では、『委員会』で原案を決めている学校が50.0%であった。

「非常勤講師の認定」の原案は、「高校衛看」と「大学」を除く各課程では、『学部長や教務主任』が決めている学校が、4割以上あった。「高校衛看」では、『校長』が決めている学校が、35.9%であった。「大学」では、『委員会』で原案を決めている学校が60.0%であった。

「学生の入学の認定」や「学生の卒業の認定」の原案は、「短大」や「大学」を除く各課程では、『校長』が決めている学校が、3割以上あった。特に「3年課程」では、『校長』及び『複数』の関係者が原案を決めている学校が、32%前後とほぼ同じ割合であった。また、「短大」や「大学」においては、『委員会』で原案を決めている学校が、4割以上あった。

2. 業務の決定会議の参加者

業務原案の決定会議の参加者をまとめたのが、表54である。

「教員の業務分担」や「年間計画」を決定する会議には、各課程とも、『学部長や教務主任』及び『専任教員』が参加する学校が8割以上あった。特に「高校衛看」においては、その他に『校長』がこの会議に参加する学校が、6割を越えていた。